

【様式 01】 高大連携公開授業シラバス

* 科目 No.	21112
----------	-------

1. 開設大学	広島大学 経済学部	開講場所 (キャンパス・施設)	東千田キャンパス			
2. 科目名	マクロ経済学入門					
	学問分野	番 号	23 名 称 経済学			
3. 担当教員	西原 鷹一 社会科学研究科					
4. 開講学期	後期 週1コマ					
5. 開講期間 (曜日) 開講時間	平成 27 年 10 月 5 日 (月) ~ 平成 28 年 2 月 8 日 (月) ※11 月 19 日 (木), 12 月 24 日 (木) も同時刻 18 時 00 分 ~ 19 時 30 分					
個別開講日	1 回目 10/5	2 回目 10/19	3 回目 10/26	4 回目 11/2	5 回目 11/9	6 回目 11/16
	7 回目 11/19	8 回目 11/30	9 回目 12/7	10 回目 12/14	11 回目 12/21	12 回目 12/24
	13 回目 1/18	14 回目 1/25	15 回目 2/1	16 回目 2/8		
6. 募集定員	10 人 (総授業定員 150 人)					
7. 科目内容・ 授業計画	<p>経済学は資源をどのように配分すると皆が良くなりそうかを考える学問です。マクロ経済学は「国」の資源配分を扱っていて、高校で言えば英語の時制や数学の2次関数のように経済学の中で幹となる科目の1つになります。この入門講義では、高校2年生程度の数学(2次関数・指数対数・微分・数列で大丈夫です)をかじったことがあるものとして、次のような内容を数値例やグラフを交えながら段階的に考えていきます。([ ]は講義回)</p> <p>まず、家計[2]や企業[3]がモノを生み出す世界を構築し、同時にそこにある資産[4]と貨幣[5]の流れを表現します。その準備の後で、手始めに閉鎖経済[7, 8]、つまり外国の影響を受けない単純な鎖国状態について思考実験してから、貿易や為替を組み込んだ社会である開放経済[9, 10]を検討します。最後に、短期的に生じてくるズレを調整する過程について再び、閉鎖経済[11, 12]と開放経済[13, 14]それぞれで考えます。</p>					
8. 受講料	2,000 円					
9. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし					
10. 学習記録	○交付する		交付しない			
11. 科目等履修生	受け入れる					
	単位数	単位				
	受入学年	高校 年生以上 (二次募集時 年生)				
	試験・評価					
	特記事項					
12. 開講条件※1 あり・○ない	① 最少開講人数 ( 人) ② 不開講通知日 (7月17日(金)以前の開講科目は3月末まで/7月18日(土)以降の開講科目は6月末まで)					
13. その他特記事項	受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと 高校2年生以下の受講も歓迎します。					
14. 開設大学への 交通手段	<a href="http://www.enica.jp/">http://www.enica.jp/</a> →広島大学→交通アクセス・地図→東千田キャンパス 広島大学経済学部 <a href="http://www.hiroshima-u.ac.jp/eco/">http://www.hiroshima-u.ac.jp/eco/</a>					

※1 申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。